

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 岩手県・盛岡市 】

1 実践テーマ	【I、III、IV、V】
2 実施対象者	岩手県立盛岡南高等学校 体育科 1年生（38名） 2年生（42名） 普通科体育コース 1年生（39名） 2年生（42名） 合計 161 名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ スポーツ総合演習 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	○目的 オリンピック・パラリンピック・ムーブメントについて理解し、 スポーツの社会的役割と課題を学ぶことを目的とする。 ○育成を目指す生徒像 ①自己を肯定し、自らの目標を持って、自らのベストを目指す意 欲と態度を備えた人間 ②スポーツに親しみ、知・徳・体の調和のとれた人間 ③日本人としての自覚と誇りを持ち、自ら学び行動できる国際感 覚を備えた人間 ④多様性を尊重し、共生社会の実現や国際社会の平和と発展に貢 献できる人間 また、体育科・体育コース設置校として、以下のような教育 効果を期待し実施する。 ⑤大会マネジメントの観点から、支えるスポーツを学びスポーツ に対する視野を広げる。 ⑥生涯スポーツの観点やキャリア教育の一環として、スポーツへ の様々な関わり方を学ぶ。

<p>5 取組内容</p>	<p>○事前学習 「オリ・パラ・ムーブメント全国展開事業」について 1 目的について ①スポーツの価値 ②オリ・パラの理念と教育意義 ③オリ・パラ教育の具体的内容 2 平成29年度の事業について ①実践の現状 ②オリ・パラ教育のテーマ 3 ビデオ学習 「夢に向かって」車いすアスリートの挑戦 ～福島正純さんの取組について</p> <p>○本事業 車いすバスケットボール2000年シドニーパラリンピック出場 根木慎志さん 1 講演(60分) 2 実技(50分)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>○事後学習 1 アンケート記入 2 事後学習 ①本事業の目的の再確認 ②日々の取り組みについての再確認</p>
<p>6 主な成果</p>	<p>○成果 1 事前学習 本事業の目的等を改めて考える良い機会となった。その中でオリンピック・パラリンピックについての興味関心を持てる状態を作れたことが一番の成果であった。</p> <p>2 本事業 アンケートをまとめると以下のような学びがあった。 ・スポーツの本質(意義、価値等)を理解度向上 ・2020東京オリ・パラに興味、関心が向上 ・多様性の尊重と共生社会の実現についての理解度向上 ・人としての心の持ち方、在り方を再考、再確認 ・生涯スポーツへの意欲 ・パラスポーツそのものへの興味、関心の向上</p>

<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>特記事項なし (本校としては、学びのきっかけとしての要素が高い。今後、様々な工夫を生み出していくものと理解している。)</p> 
<p>8主な課題等</p>	<p>第一に学びの機会としてのシリーズ化(複数回)できれば、その効果は上がると考える。単発では、日々の活動に追われ、意識の向上も薄れてしまう。</p> <p>また、スポーツ総合演習として扱う時、年間を通しての研究課題として扱いたい。</p> <p>どちらの観点からも、年間を通して授業の一つとして学んでいくのが体育科を持っている本校の在り方と考える。つまり、複数回の講義でありながら、生徒の興味関心に沿った内容を準備していくことが必要だと思う。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>8を踏まえ、継続的に実施していくことを考えている。</p>